



～使命の継続～

2017年8月10日発行 8月号 No. 270

◇ 『残暑お見舞い』

ロジスティクス研究会員

江戸川支部支部長 森本 勝也
〔東亜物流(株) 代表取締役〕



残暑お見舞い申し上げます。

ロジ研の皆様には、平素よりご指導を賜りまして誠に有り難うございます。紙面をお借りしまして、改めて御礼申し上げます。

世間的には今週末辺りから『お盆休み』という事になりますが、当社においても、従業員さんには交代でお休みを取って頂いており、まとまった休みが取れるこの時期に普段出来ない様な家族サービス、親孝行、特にお盆ですので墓参り等、先祖供養に努めて頂きたいと話しております。私は例年、特に予定も立てず、何となくお盆が終わっていると言うのが現状ですが、毎年欠かさず8月15日終戦の日の正午に、九段の靖国神社に参拝しています。大勢の方で境内、参道はすごい熱気に包まれています。正午の時報と共に辺りは静まり返り、皆さん英霊に黙祷を捧げています。セミの声さえ涼しげに聞こえる位です。私も祖父を先の大戦で亡くしておりますが、日本人である事を自覚する一時です。

さて、都議選があのような(予想以上)形で決着し、これから小池改革が本格化して行くであろうと、都民の一人として、また、業界としてどの様な施策が出てくるのか注目するところです。

話はガラッと変わりますが、昨年本部が50周年を迎え、皆様ご存知の通り盛大に式典を執り行い、会員一同で新たな門出を祝いました。1年遅れて本年は各支部共に50周年を迎えることとなりますが、江戸川支部でも、10月9日(月、祝日)トラックの日に記念式典を計画しております。『会員ファーストの記憶に残る式典』にどのコンセプトで実行委員会を組織し、現在内容について鋭意検討を重ねている段階です。会長、副会長、支部長、本部役員の皆様には、改めてご案内状を送付致しますので、ご来臨の栄を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

平成29年度も早くも3分の1が終了しました。年頭に立てた計画や目標の進捗状況を確認する機会を持ち、後半戦に繋げて行きたいと思えます。

◇ 『支部長雑感』

ロジスティクス研究会員

葛飾支部支部長 鈴木 貢
〔有すずか梱包運輸 代表取締役〕



さて、今回は久々のロジ研機関紙「ひびき」への原稿の依頼。かつては、広報委員長として皆様の処を廻って原稿のお願いをしていた身分だったが、いざ自分がお願いされると、意外と戸惑うものだ。今、それが判った。これまで無理言って原稿をお願いしていた皆様、当時は申し訳ございませんでした。

そして、ありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、今のロジ研が支えられ、そして存在しているのだと思えます。

ということで、私のお話です。みなさんご存知の様に私はバンドマンです(言い切っちゃいました)。今ではジャズ一筋、色々なイベントに出演させて戴いております。私の所属するバンドも来年で結成45周年を迎えます。妻に言わせると、いや自分でも

そう思っておりますが、他にやることはなかったんだらうかと時々過去を振り返っております。その為、オフの時間が限定されておりますので、私はゴルフはやらないと明言しておりました。が、しかし、支部長になったからにはこれも仕事の内だと諸先輩方に諭され、一昨年6月からクラブセットを買って、トラック協会のゴルフコンペに gross 136 で初参加させていただきました。いやあ、難しい。肩、腰、膝等終わった後は総て軋みます。ゴルフに関しては、私に難しい注文をつけないでください。お願いです!!

話を元に戻します。私はこの業界へは昭和58年4月から参加、父から兄へ引き継いだ会社へ、兄の体調不良の交代要員として入りました。同時に先代の鈴木葛飾支部長が我が家へ訪れ、全くの異業種から参加した私に、青年部を作るからそれに参加して業界のことをしっかり覚えてこいと勝手にレールを敷かれて、初代の青年部副部長に就任させられました。その日から私の四谷通いが始まったのです。確かに、何も知らない私にとってそこは別世界でした。大勢の青年部の方と仲良くさせてもらって、いろいろと相談ごとにも乗って貰いました。当時のメンバーで、今では支部長になられた方が大勢いらっしゃいます。こんな人たちと当時は一緒に机を並べて勉強していたんだと思うと、ちょっと誇らしい気分になります。私が支部長になった時には、皆さん私の事を受け入れてくださいました。ありがたいことです。感謝申し上げても言い尽くせません。支部の方向性を決めるときに一人で悩まず、相談できる人がいるというのはものすごい安心感があります。それも総て、青年部時代、壮年部時代、ロジ研時代と一緒に歩いてきた友達がいて、価値観を共有できるから出来ることです。ロジ研で海外に連れて行ってもらって、以後お酒が飲めるようになったのは副作用だと思っておりますので、そこはあまり突っ込まないで戴きたい。いま、これを読んでいるあなたに言っているのですよ。

さて、ロジ研に関しては、私は各種委員会並びに理事会から一歩も二歩も退いた位置、言い方が悪ければ全体を見渡せる位置からトラック協会本体に物申す団体であると認識しております。壮年部時代に私は3期、情報システム委員長を務め、色々な政策提言に携わってきました。最後に運賃問題に関する政策提言を作成し終えたとき、独禁法に引っかかると取り上げてもらえなかった記憶があります。時代の流れはあるのかも知れませんが、運送事業者として、一番肝心の収益の部分の覆い隠そうとする当時の執行部に憤りを覚えた記憶があります。以降、政策提言は無くなりました。非常に寂しい限りです。

私がいまロジ研に望むこと。青年部、ロジ研の中には、本体の理事を仰せ付かっている方も大勢いらっしゃるでしょう。立場は理解しますが、トラック協会理事会とは一線を画して自由に批判、同調を出来る勢力になって欲しいと思えます。批判を目的とした団体になってしまっただけでは本末転倒ですが、客観的に物事を見据える目を持っているのがロジ研だと信じておりますので、皆で頑張っただけで協会をより良いものにしていきましょう。

ロジ研は永遠に不滅です(どっかで聞いたなあ)。これからも、本体の執行部に人材をドシドシ輩出して戴きたいと念じます。業界の地位向上は当たり前、従業員が誇りを持って働ける環境作りを目指してください。誰もが運転者になりたい、ハローワークで真っ先に求人票が無くなるような業界にしたいです。いや、しましよ。

最後に、みなさんお酒は程々に、健康に留意されこの業界の行く末を見守っていきましょう。私も頑張ります。

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 9/8(金) 13:00~ 関東事業者大会(帝国ホテル)
- 9/11(月) 16:00~ 正副本部長・幹事会(東ト総合会館4階)